

2019 年度春季研究発表会（2019 年 6 月 16 日（日）、立命館アジア太平洋大学）におけるワークショップのテーマ案募集

ワークショップは結論を出すことが目的ではなく、参加者の自由な討論から、多角的な視点や知見を得ることを目的としています。したがって、今後発展が期待される課題や新しい問題を掘り起こすようなテーマでも結構です。

ワークショップの登壇者は、司会者 1、問題提起者 1 の 2 人体制を原則とします。討論者を設ける場合は、必要性、候補者の人選の理由を、テーマ案要旨のなかで簡潔に説明してください。その場合も、ワークショップの実施形態（一部制、二部制のどちらにするのか）、テーマ案の内容などを企画委員会で検討の上、討論者を設けずに、司会者と問題提起者による実施をお願いする場合があります。また、同様の点を検討の上、討論者のないテーマ案にも討論者を設けることを企画委員会からご提案する場合があります。

※テーマ案の応募件数、テーマ案の内容、開催校の事情を総合的に判断して、企画委員会が、一部制、二部制のどちらか、あるいはその併用を含めてワークショップのプログラムを編成しますので、100～150 分で実施可能なテーマ案をご提案ください。

1. 提案者資格

- (1)日本マス・コミュニケーション学会会員であること。
- (2)応募の時点で、応募年度までの学会費を完納していること。

※応募の採否については、企画委員会にご一任願います。

2. テーマ

本学会の趣旨に沿ったものであること。

3. 応募要領

日本マス・コミュニケーション学会のサイト <http://www.jmscom.org/> から「ワークショップへの応募文書」(Word ファイル)をダウンロードして、同文書に記載されている 1～6 の項目すべてについて、【留意事項】を遵守して記入し、記入済みのファイルを電子メールに添付して送付してください。送付先と応募締切は次のとおりです。

※記入されていない項目があったり、【留意事項】が守られていない場合は、採択を不可とすることがありますのでご注意ください。